

令和7年9月18日

小金井聖ヨハネケアービレッジ

管理者 片桐章平

第1回小金井聖ヨハネケアービレッジ 地域連携推進会議

開催日時：令和7年9月 18日

10時00分～ 12時 00分

場 所：小金井聖ヨハネケアービレッジ本町1

出席者：・利用者代表 1名

・利用者家族代表 1名

・市町村担当者 小金井市 1名

・地域の関係者 元民生委員 1名

・職員 木下一美（東京事業部副部長）

片桐章平（係長・管理者・サービス管理責任者）

傳田 領（生活支援員）

1. 開会の挨拶 地域連携推進会議の目的 構成員紹介

目的：①利用者と地域との関係づくり

②地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進

③サービスの透明性・質の確保

④利用者の権利擁護

2. 当グループホームの概要説明 歴史 あゆみ

法人名：社会福祉法人聖ヨハネ会

障害福祉部門 東京事業部

事業所名：小金井聖ヨハネケアービレッジ

事業所番号：1323300051

所在地：東京都小金井市本町 5-28-13

開所日：2004（平成16）年4月1日

3. 地域連携強化、近隣からの苦情等の共有

○苦情対応

利用者家族様

- ・保護者からの苦情も言える雰囲気があるので鬱々としなない。いつも笑顔で家でも助かっています。

○町内会・地域行事への参加

木下副部長

- ・町内会の掃除に参加したことがありました。

地域の関係者様

- ・町内会では、11 月に一斉清掃や防災街歩きがあります。さらに、今年は本町小学校の 60 周年フェスティバルもあります。コロナ以前は町内会の交流ができていました。コロナ禍で町内会も活動自粛を余儀なくされましたが、最近は以前のように戻りつつあります。
- ・障害のある皆さんとの交流等については、地域に支援学級のないところは障害者理解がなかなか進まない状況もあります。

4. グループホームが提供するサービス

① 個別支援計画立案

サービス管理責任者が、入居者の既往・疾患・特性・性格をもとに、要望・悩み等をアセスメントし、個別支援計画を立案する。

② 個別支援

個別支援計画をもとに支援を実施

(個別支援内容例)

- a.食事提供支援 アレルギー、禁食、食形態に応じた食事を提供
- b.声かけ 食事、入浴、トイレ、掃除、服薬、身だしなみ等、必要に応じて
スタッフから日常生活における声かけ、支援の実施
- c.服薬管理、金銭管理 本人の管理能力に合わせて提供
- d.巡回、巡視 夜間時の変化、安否確認
- e.保護者、家族対応 随時、家族・保護者に入居者の現状報告

○グループホームの支援に利用者さんやそのご家族が求めていることは安心安全に過ごせることが第一なので、大きな病気や変化がなければ、基本的には安心安全に過ごせることを目標にしています。

○その他、グループホームの役割として、夜間の見回り等の夜間支援、緊急時の対応、帰宅帰寮や保護者との連絡を記載しています。

5. 小金井聖ヨハネケアービレッジの一日

【別紙参照】

朝食の薬は青、昼食の薬は黄色、夕食の薬は緑、就寝の薬は赤。これは、山梨事業部・東京事業部も同じです。薬は大事なのでミスのないように統一されています。

6. 支援者の配置

【別紙参照】

- ・ 小金井聖ヨハネケアービレッジ職員メンバー表
- ・ 職員には生活支援員（衣食住、入浴・排泄などを主とする）と、世話人（相談、金銭管理を主）があります。

7. 虐待、ヒヤリハット、事故の報告

- ・ 事故・ヒヤリハットの報告
- ・ これまで虐待事案はありません。
- ・ 虐待に繋がりやすい事案等を分析し、虐待や身体拘束をなくしていくために、東京事業部として虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を設置しており、他事業所の職員からの意見も取り入れるようにしています。

8. 入居状況報告

小金井聖ヨハネケアービレッジ本町1 男性定員7名 満室

小金井聖ヨハネケアービレッジ本町2 女性定員7名 満室

小金井聖ヨハネケアービレッジ梶野町 男性定員7名 満室

梶野町4名のショートステイあり。

9. 小金井聖ヨハネケアービレッジ、グループホームの今後

○東京事業部として

木下副部長

- ・ 東京事業部では、利用者の重度化・高齢化、建物の老朽化、人材確保等々の諸課題に対応するため、組織の再構築に取り組んでいます。

地域の関係者様

- ・ グループホームは地域移行の受け皿、地域の方と組み立てながら、地域の方と関係性を作っていくことが大事だと思います。
- ・ グループホームほどこにあっても不思議ではない。

○高齢化問題

利用者家族様

- ・利用者、保護者の高齢化問題、親がいなくなった時どうなるかの心配がある。
- ・仕事先や通所先に通えなくなった時どうするかが心配。高齢化した人にいつまで作業や運動をさせるのか。
- ・グループホームは日中活動へ行くことが前提となっている制度。ここが問題で、日中ものんびりと過ごせるグループホームが理想。
- ・日中支援型のようなすべてをひっくるめたグループホームが求められているのではないか。

○人材不足

木下副部長

- ・人材不足問題、募集しても職員が来ない状況があります。最低賃金は毎年上がりますが、福祉の予算はそれに追いついていかない中で運営している。

利用者家族様

- ・グループホームを維持していくことが大事なので、グループホームの家賃を上げではどうでしょうか。ヨハネさんだけ家賃据え置きで大丈夫ですか？

木下副部長

- ・ヨハネ会としては、年金で支払いができる額として家賃を設定した。

地域の関係者様

10. 質疑応答・感想

意見や質問をしながら会議が進んだので、特に他の質問は出なかった。

11. 閉会の挨拶

12. 小金井聖ヨハネケアービレッジ梶野町見学